【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和4年3月31日(2022.3.31)

【公開番号】特開2022-20014(P2022-20014A)
【公開日】令和4年1月27日(2022.1.27)
【年通号数】公開公報(特許)2022-015
【出願番号】特願2021-198114(P2021-198114)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｇ　5/20(2006.01)
Ｆ１６Ｇ　5/06(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｇ　5/20　　Ｂ
Ｆ１６Ｇ　5/06　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年3月23日(2022.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ベルト長手方向に沿ってコグ山とコグ谷が交互に多数設けられたコグ部が、少なくともベルト内周側に設けられ、ベルト厚みＨが１９．８～３６ｍｍ、コグ高さＨ$_1$が１４～１９ｍｍである、コグ付きＶベルトであって、
前記ベルト長手方向の断面における前記コグ谷の断面形状は、連続する複数の円弧が組み合わされてなる底部と、ベルト厚み方向に対して傾斜する前記コグ谷の側壁と、を備え、
前記底部を構成する複数の円弧は、前記コグ谷の最深部から離れるにつれて、曲率半径が小さくなり、
前記複数の円弧は、前記コグ谷の最深部を通り、前記コグ谷の最深部と両側の前記側壁との３点に接する仮想円よりも大径である第１円弧と、前記第１円弧と前記側壁の延長線とを、それらに接するように曲線状に繋いだ第２円弧と、から構成され、
前記第１円弧の曲率半径Ｒ$_1$は７．５～９．５ｍｍの範囲にあり、
前記第２円弧の曲率半径Ｒ$_2$は、１．５～２．８ｍｍの範囲にある、
ことを特徴とするコグ付きＶベルト。
【請求項２】
前記コグ山の側面及び頂部は、直線で形成される、
請求項１に記載のコグ付きＶベルト。
【請求項３】
大型農業機械のベルト式変速装置の伝動ベルトに使用される、
請求項１又は２に記載のコグ付きＶベルト。